

トリニダード・トバゴ月間情勢報告

(2023年11月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- 国営ガス会社（NGC）は、石油化学セクターにおけるパートナーシップ強化及び同セクターの継続的な成長に向けて、アンモニアを生産しているPCSナイトロジェン・トリニダード社並びにプロマン社の子会社であるカリビアン・ナイトロジェン社（CNC）及びナイトロジェン（2000）アンリミテッド社（N2000）とガス販売契約（GSC）を新たに締結。
- 中国の「一帯一路」のもと、フェニックス工業団地の建設が完成。ブラウン外相は、同団地は既に4.58億TTドル（約6,752万米ドル）の投資を受けていると発表。
- ヤング・エネルギー相は、2019年～2022年にかけて、パリア燃料貿易会社を通じた国内用燃料の輸入額が30億米ドルに上ったと発表。
- 米マクダーモット社は、シェルTT社からマナティ・ガス田開発に係る設計・調達・建設・据付（EPCI）業務を受注した旨を発表。

2 内政

- （6日報道）ローリー首相を含む約120万人の国民がサイバー攻撃の被害を受け、国民識別番号や運転免許証番号、パスポート番号等の個人情報流出。
- （14日報道）市内を運転中の国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐TT代表が武装強盗に襲われ、携帯電話や現金などを強奪された。
- （29日報道）トリニダード・トバゴ警察（TTPS）によると、2021年以降国内における家庭内暴力の件数は42%増加している。

3 経済

- （2日、19日報道）国営ガス会社（NGC）は、石油化学セクターにおけるパートナーシップ強化及び同セクターの継続的な成長に向けて、アンモニアを生産しているPCSナイトロジェン・トリニダード社並びにプロマン社の子会社であるカリビアン・ナイトロジェン社（CNC）及びナイトロジェン（2000）アンリミテッド社（N2000）とガス販売契約（GSC）を新たに締結。
- （5日報道）2023年上半期の国内カカオ生産量は、前年同期の85,00

0キログラムから9割減の8,500キログラムとなった。生産減少の原因はてんぐ巣病の蔓延や鳥による被害、異常気象等であると推測されている。

●（11日、12日報道）中国の「一帯一路」のもと、2018年に建設が合意されたフェニックス工業団地が完成。ブラウン外相は、同団地は既に4.58億TTドル（約6,752万米ドル）の投資を受けていると発表。

●（18日報道）シナナン公共事業・運輸相とスワイディ・アラブ首長国連邦（UAE）民間航空局局長は、両国間の直行便の運航開始を目的とした航空輸送協定を締結。

●（29日報道）ヤング・エネルギー相は、2019年～2022年にかけて、パリア燃料貿易会社を通じた国内用燃料の輸入額が30億米ドルに上ったと発表。

●（29日報道）米マクダーモット社は、シェルTT社からマナティ・ガス田開発に係る設計・調達・建設・据付（EPCI）業務を受注した旨を発表。

4 外交

●（3日政府発表）ブラウン外相は、TTを訪問中の方文圭（バン・ムンギュ）韓国国務委員兼産業通商資源部長官と会談し、デジタルトランスフォーメーション、グリーンエネルギー、ブルーエコノミー、及び観光の分野における経済協力に関して協議。更に両大臣は二国間パートナーシップの強化に向けて協力することに合意。